

札幌市環境プラザ事業検討部会

平成23年度第1回実施概要

- 1 日 時 平成23年7月19日（火）午後7時～午後9時
- 2 会 場 札幌エルプラザ公共施設2階 会議室1・2
- 3 出席者
 - (1) 委員
内山委員、今 委員、白崎委員、新保委員、桧山委員、藤田委員、本富委員、
宮森委員、森山委員
 - (2) 札幌市
札幌市環境局、環境計画課長、環境教育担当係長、環境教育担当
 - (3) 事務局
財団法人札幌市青少年女性活動協会事務局長、市民活動担当課長、主任指導員、
指導員
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 札幌市環境局あいさつ
 - (3) 報告
 - ①委員の委嘱について
 - ②札幌市環境保全協議会における協議状況について
 - (4) 議事
 - ①平成22年度札幌市環境プラザ事業報告
 - ②平成23年度札幌市環境プラザ事業計画
 - ③札幌市環境プラザキッズホームページのリニューアルについて
 - (5) 財団法人札幌市青少年女性活動協会事務局長あいさつ
 - (6) 閉会
- 5 議事概要
 - (1) 平成22年度札幌市環境プラザ事業報告
＜意見などの要旨＞
 - ・「札幌市内12環境関連施設めぐりガイド」については、市内の環境関連施設

を紹介する窓口としてよいものである。

Q. 「こどもエコクラブ」登録数について平成21年度から比較するとメンバーの半減、サポーターの増加という状況であるがその理由は何か。

A. 現在「こどもエコクラブ」については学校、児童会館などの大規模施設での加入が多く、今年度に関して学校所属のこどもエコクラブが減少している傾向にある。

Q. 環境プラザに配架されているパンフレットについて、新着があった際にホームページなどでお知らせなどがあるとよいのではないか。

A. 現在の環境関連イベントの紹介や、環境に関する冊子などの情報については環境プラザのホームページでの紹介は行っていない状況。そういった情報については環境中間支援会議管理運営のホームページ「環境☆ナビ北海道」に掲載されるためそちらを見ていただきたい。

・「施設見学」について町内会の利用があるが、今後もこの部分の利用を拡大させていくことは重要。

Q. 「普及・啓発事業」の参加者充足率について目標達成しているか。

A. 林心平さんをナビゲータにお迎えした事業については100パーセントを超える参加となっており、そのほかの事業についても概ね参加予定人数を超える市民の方の参加をいただいている。

・環境活動団体との連携事業についてコンパクトデジタルカメラを用いた内容を取りあげるなど非常に興味深い。この内容については子どもだけではなく年配者も対象となりうる。さらに内容を深め、参加者確保に努めるとよいのではないだろうか。

・「出前事業」について、全市的に目を配って取り組んでおり非常に良い取り組みである。行政機関だけではなく他の部分にも今後も積極的に出張するとよい。

・人数、数値にとらわれない、市民や市民活動団体の様子や声が伝わる評価指標での事業報告が必要である。

・コミュニティFMやミニコミ紙をはじめとしたマスメディアに携わる方々と連携し「参加者・市民の声」をとおして環境プラザの取り組みを広く報告できるとよい。

・「講師派遣制度」について複数回派遣を可能にしたのは評価点である。このことによって「講座化」が可能になったのではないだろうか。環境プラザがプラットフォームになり市民が主体的な学習者になるきっかけとなっている。

(2) 平成23年度札幌市環境プラザ事業計画

<意見などの要旨>

・環境関連施設・組織の連携をより一層深めていくと良い。環境関連情報の発信については「環境☆ナビ北海道」をすすめると良いのでは。

- ・子どもを対象とした環境教育機会の提供については教育委員会や学校をとおし全市的に呼びかけや参加者の声を届けると良いのではないかな。
- ・札幌市環境プラザキッズページについて環境教育に取り組む学校に対し情報共有、活用、機会提供があると良い。
- ・環境教育プログラムを有する市民活動団体もあるので連携すると良いのでは。
- ・事業の中に札幌市の施策がうまく進むようなアクションプランが入っていくと連動して効果的になるのではないかな。
- ・企業とのタイアップについて力を入れ取り組んでほしい。
- ・重点を絞り事業に取り組むべき。
- ・環境プラザ事業などの際に環境教育リーダーを活用し、お互いにスキルアップを図ることができる機会を増やしていくべき。
- ・中学校や小学校で環境教育を行いたいと考えるときに最初に相談する窓口が環境プラザであってほしい。そのためには環境プラザが企業ともつながり集約されていると良いのではないかな。また教育委員会や環境局の持つデータや資料がつながり、活用できるような存在になればよいのではないかな。
- ・参加人数、実施回数、新規事業数などの数にとらわれずその一つひとつをどれだけ丁寧に行っているかという点も評価対象としてほしい。

(3) キッズホームページリニューアルについて

<意見の要旨>

- ・各学校で掲示している「環境元気かべ新聞」など必ず子どもたちが目にしているものもホームページ上でも見られるようにすると良いのではないかな。
 - ・「文字」ではなく「絵」でみて情報に向かえるような仕組みが必要ではないだろうか。
- キッズホームページについては今後改めて情報提供を行い、各委員の意見をきくということで合意した。

(4) その他

- ・北海道ガス株式会社さまより寄贈いただいた教材について、今後貸出教材として活用することを報告した。